

当社国内プロダクション事業第1弾ドラマ「八月の声を運ぶ男」が、第63回ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 山本 均、以下「WOWOW」）が企画・制作した「八月の声を運ぶ男」が、第63回ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞しました。

「ギャラクシー賞」は日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために、放送批評懇談会が1963年に創設した賞で、今年で63回目を迎えます。

ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞するのは、「TOYD」（第39回）、「連続ドラマW フェンス」（第61回）以来、当社として3度目の快挙となります。

本作は、長崎に暮らし日本全国を渡り歩いて被爆者の声を集め続けたジャーナリスト伊藤明彦の実話に基づいた、原爆によってもたらされた数奇な出会いの物語。当社国内プロダクション事業の第1弾として企画・制作し、NHKにて戦後80年ドラマとして2025年8月に放送されました。

■「八月の声を運ぶ男」概要

初回放送

2025年8月13日（水） [NHK（総合）]

<https://www.web.nhk.tv/pl/series-tep-663796R2L1>

NHKオンデマンドで配信中

番組内容

<ストーリー>

その生涯をかけ千人を超える被爆者の「声」を録音し、未来へ遺した一人のジャーナリストがいた。長崎の放送局を退職した辻原保（本木雅弘）は、重い録音機材を携え日本全国を渡り歩いていた。活動を周囲から理解されない孤独の中、彼は一人の被爆者・九野和平（阿部サダヲ）と出会う。その感動的な被爆者体験は辻原の心を強く揺さぶり「声」を遺すことへの決意を新たにさせる。しかし、その「声」は謎に満ちたものだった...

<スタッフ・キャスト>

出演：本木雅弘 石橋静河 伊東蒼 国広富之 尾野真千子 田中哲司 阿部サダヲ

原案：伊藤明彦「未来からの遺言 - ある被爆者体験の伝記」

作：池端俊策

音楽：清水靖晃

制作統括：加茂義隆（WOWOW）、尾崎裕和、熊野律時（NHK）

プロデューサー：松本太一（WOWOW）、森井敦（東映京都撮影所）

演出：柴田岳志

報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp

コーポレートサイト:<https://corporate.wowow.co.jp>

SNS(X):https://x.com/WOWOW_Inc